

いのちを守る都市づくり

地域防災 ワークショップ 2012

～みんなで備える広域複合災害～

ODRP

大阪市立大学 都市防災研究プロジェクト
Osaka City University - Disaster Reduction Research Project



日時 平成24年**12月8日(土)** 9時30分～17時

場所 住吉大社周辺(午前)、我孫子南中学校(午後)

対象 地域住民、小中学生、高校生、大学生、および防災・福祉・行政関係者

主旨

「いのちを守る都市づくり」とは、東日本大震災をうけて大阪市立大学が住民・行政と連携し、専門分野横断組織で取り組む都市防災研究活動です。この活動は、単に都市における建造物やライフラインなどの防災力を見直すことではなく、そこにいる「人の力」、そこで営まれる「コミュニティの力」を高めて、「いのちを守る力」を育成します。本ワークショップでは、「防災まち歩き」、「コミュニティ防災のビジョンを語る」、「いのちを守るしくみ」を体験します。それらとおして、みんなで広域複合災害について考えます。

プログラム ※どのプログラムからでも参加できます

第1部 9時30分～12時／南海電鉄住吉大社駅前住吉公園東口付近・集合

「防災まち歩き・住吉大社周辺」(定員20名)

住吉・住之江の地形・地盤の特徴やまちの特性を、まち歩きを通じて確認します。

第2部 13時～15時／我孫子南中学校 多目的室

「コミュニティ防災のビジョンを語る」(定員100名)

これからのコミュニティ防災について、住吉区長、小学校、まちづくり協議会など地域の方々と大学教員とで議論を深めます。

第3部 15時～17時／我孫子南中学校 多目的ホール

「いのちを守るしくみを体験する」(定員100名)

災害時における医療やセルフケア、災害弱者、避難と体力、避難経路と避難所、食料と栄養、祭りと防災など「いのちを守るしくみ」を体験的に学びます。

「iPad&デジタルサイネージ」を利用した
まちの防災点検を体験しよう



今回のプロジェクトでは、iPadを使って、自分の位置や情報を確かめながら防災面での、まちの点検を行います。

**参加費
無料
(先着順)**

問い合わせ: 大阪市立大学「都市防災研究」プロジェクト事務局

メール: bousai.jimukyoku@gmail.com / ファックス: 06-6605-3086